

事務事業評価票[市単独補助金] 平成30年度

		担当課		農林水産課			
基本事項	補助金(事業)名	資源を育む長崎の海づくり事業費補助金			整理番号 1405		
	根拠法令等				実施を義務付ける規定 <input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる▼	予算科目 6款3項2目	区分 第2節 水産業の振興▼	○継続 <input checked="" type="radio"/> 新規		
事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	島原漁業協同組合			実施期間 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 20年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 年度まで		
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	有明海におけるガザミの資源回復を図るため、抱卵ガザミを畜養して産卵させ、ふ化幼生の供給量の増大を図る。					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	抱卵ガザミを畜養して産卵させ、ふ化幼生の供給量の増大を図る事業の費用を支援することで、事業費負担の軽減と継続した事業への取組を行ってもらう。					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	抱卵ガザミを漁協で買い取り、数日間、海中に垂下したカゴ等で畜養して、幼生を産出させる。その後、生残している個体を回収して販売を行い、買取価格と販売価格の差額の1/4を補助する。					
事業費等の推移	年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	区分	実績	実績	実績	実績	予算額	
	補助金交付額(千円)	132	0	0	84	300	
	① 団体等事業費(千円)	530			340	1,200	
	② 岁入内訳 (千円)	会費等 前年度繰越金	398			256	900
	市補助金 その他の助成金	132	0	0	84	300	
	その他雑収入						
	次年度繰越金 (②-①)	0	0	0	0	-	
29年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項目		金額	項目		金額		
買取販売差額							
補助金の使途についての特記事項等							

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析

視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input type="radio"/> 意図した効果があがっている <input checked="" type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	有明海におけるガザミ資源の減少を抑えるため、種苗の放流事業は必要である。 種苗の放流の効果は、継続することで見えてくると確信している。
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	渔業振興を図る中で種苗放流事業は必要不可欠と考えており、今後も継続して実施したい。
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助成の在り方等の見直し 必要性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	県の補助がなくなつても継続して実施しており、市の支援は重要である。

○総合評価と今後の方向性

総 合 評 価	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的方向性 <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) → () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) → ()
	判 定 理 由	ガザミ資源の減少を抑えるには、種苗放流の継続した取り組みが必要であるため。
今後の課題と見直しの 方向性(総合評価判定が B1~B4の場合)	課 題	
	見 方 向 し 性 の	

◎2次評価

判 定	A1特段の見直しを行わず、現行のまま継続
備 考	漁獲量は不安定であり、資源確保のための取組として、また、産業振興のための取組として評価できる。継続実施が妥当と判断した。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評 価 結 果 を 踏 ま え た 次 年 度 予 算 へ の 反 映 状 況 (□)	
<input type="checkbox"/> 補助額の削減	<input type="checkbox"/> 補助額の増加
<input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ⇒ 予算措置額の増減 0 千円
備 考	